

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	16 (17)	14
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

### 広島県感染症発生動向週報

平成30年第3週(1月15日~1月21日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			2		3		2
三類	2	細菌性赤痢	1							1
		腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	0	発生なし	0							
五類全数	10	後天性免疫不全症候群	2	1		1				
		梅毒	6				5	1		
		百日咳	2				1	1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第3週 1/15~1/21)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

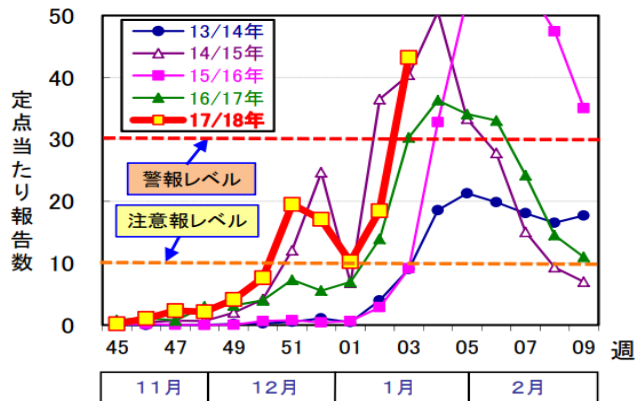
定点当たり43.2人と、前週の18.4人から急増し、警報レベル(定点当たり30.0人)を上回りました。市内全域で本格的な流行となっています。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第3週に50件報告され、その後も1月23日までに33件報告されています。

なお、第3週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が215人、B型陽性が298人報告されており、A型とB型が混合して流行しています。

今後、さらに流行が拡大する可能性がありますので、健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行、人ごみを避けるなど感染予防対策を徹底しましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1600	43.24	22.55	↑	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.41	
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.22	↑	眼科	RSウイルス感染症	12	0.50	0.41	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	2.38	1.78	↔		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	172	7.17	9.36	↔	眼科	流行性角結膜炎	6	0.75	0.63	
小児科	水痘	8	0.33	0.73	↓	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	4	0.17	0.19	↔		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	3	0.13	0.31	↔		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.20	
	突発性発しん	6	0.25	0.28	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.01	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ↔ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	7	男性(40歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
5	梅毒	5	5	男性(40歳代)・3人、女性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人
5	百日咳	1	1	女性(70歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0) 上気道炎	10	女	2017/12/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.3) 鼻炎	6	女	2017/12/13	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
ヘルパンギーナ	咽頭炎 結膜炎 リンパ節腫脹	6	男	2017/12/12	咽頭拭い液	ライノウイルス
無菌性髄膜炎	発熱(38.6) 髄膜炎	0	女	2017/11/13	糞便	エコーウイルス7型
無菌性髄膜炎	発熱(40.0) 髄膜炎 項部硬直 頭痛	9	男	2017/12/13	髄液	エコーウイルス11型
その他の消化器疾患	発熱(40.0) 下痢	0	不詳	2017/11/21	糞便	アデノウイルス41型
その他の発疹性疾患	発熱 紅斑 リンパ節腫脹 口唇発赤	1	女	2017/12/11	咽頭拭い液	エコーウイルス7型
その他の発疹性疾患	発熱(40.0) 紅斑 肝機能障害 リンパ節腫脹	2	男	2017/12/12	咽頭拭い液	エコーウイルス7型
その他の疾患	発熱(38.5)	0	女	2017/09/24	咽頭拭い液 糞便	エンテロウイルス71型
その他の疾患	発熱(39.5)	0	女	2017/11/13	咽頭拭い液 糞便 鼻汁	エンテロウイルス71型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載